

**予算特別委員会産業建設分科会会議記録**  
(当初予算審査)

1. 日 時	平成30年2月28日(水) 9:30開会 平成30年2月28日(水) 16:50閉会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	小島政行座長、國里修久副座長、前田えり子委員、足立義則委員、大上和則委員、園田依子委員
4. 会議に付した事件	議案第30号 平成30年度篠山市一般会計予算 議案第37号 平成30年度篠山市農業共済事業会計予算
5. 議事の経過	<p>■ 開議 9:30 小島座長 開議宣告</p> <p>■ 日程第1 議案第30号 平成30年度篠山市一般会計予算 【主な説明】 農都創造部より予算説明資料に基づき説明(商工観光課)</p> <p>【主な質疑】 足立委員 観光おもてなし事業の補助金について、説明願いたい。 農都創造部 デカンショ節保存会の10万円から50万円への増額は、冬場の浴衣製作に係る経費の半額分を2年間補助する予定である。よさこい祭は、さくらまつりとでステージ分が10万円プラスしている。春ものがたりについては、80万円増としており、最古の登り窯を活用したイベントやその広報活動費分としている。</p> <p>國里副座長 観光客誘致促進事業に関し、冬の観光キャンペーンの内容は。 農都創造部 JR大阪駅等でのデジタルサイネージでぼたん鍋のキャンペーンを行う。</p> <p>國里副座長 サイネージは見ている時と見ていない時があるが、静止画か。 農都創造部 時間によって次々と変わる。</p> <p>國里副座長 JRに対していくら支払っているのか。 農都創造部 大阪駅中央口セットが178,200円、京阪神ネットワークセットミニでは829,440円で計上している。</p> <p>國里副座長 ぼたん鍋だけでは、思いつきで「行こう」という気にならないのではな</p>

いか。キャンペーンで焼きぼたんとか、色々な食べ方を提案してはどうか。

農都創造部 ふぐを食べに山口県に行った際、鍋のほかに焼きふぐといった新たな食べ方に感動したことを覚えている。そうしたPRができればと考える。

前田委員 観光推進専門員はどのような人か。

農都創造部 JTBに勤務の経験があり、年は64.5歳の男性である。

前田委員 実績はどうか。

農都創造部 関西圏や東京圏の旅行業者に出向き、篠山に来てもらえるような旅行プランの提案やプロモーション活動を行っている。実際にツアーが実現し、昨年5月の「春ものがたり」には、3日間、それぞれバス1台の誘客を行ったほか、「デカンショ祭」への誘客も行ったという実績がある。

園田委員 商工振興費に関し、昨年度の住宅リフォーム助成制度を利用して工事が増えてきていると思われるが、市産材がどのような状況で使われているのか。

農都創造部 市産材のフローリングや根太などで、全体の約7~8%の人に活用されている。大きなリフォームでも使いやすく、製材屋で半年や1年寝かせて使う。件数としては少ないものの、使ってもらっている。

園田委員 市内工務店は市外の業者から購入することが多いが、どこで市産材が購入できるかといった一覧を作るとか、限りはあると思うが、連携して取組んでほしい。

農都創造部 必ずしも市内での購入ということではなく、証明を付けてもらう。制度改正の説明をしているので、連携を取っていききたい。

足立委員 商工総務費のアクト篠山の調査業務委託料に関し、ささやま荘の近くにルートインができる。市としてささやま荘の位置づけをどのように考えるのか。来年工事して1年後にオープンすれば、宿泊客は激減すると思われる。

農都創造部 ルートインに関しては、土地所有者の西日本ジェイアールバスとルートインとの話で、市としては自分が交渉を担当している。概ね合意がなされており、市とJRとの5年間の賃貸借契約の期限が来る。今後開発してスムーズにいけば平成30年度末に着工、31年の夏か秋にはオープンとなるかもしれない。ささやま荘がルートインの形態に一番近いと思われるので、影響はあると考える。ささやま荘の建増し等改造してから約15年が経っており、ある程度のスパンでリニューアルが必要である。平成29年4月からアクト篠山の役員が交代し、3年前から単体では赤字となっており、ロマン館と合わせて保っています。今のままではいけないと、今年度から公認会計士がアクト篠山に経営指導を行っており、半年たった中でもう半年分の計1年分を予算計上している。一旦、国民宿舎をやめて続けているが、

現時点での経営が難しく、ルートイン無しにしても問題がある状況である。

足立委員 以前に宿泊のパイが足りないと、リニューアルを進めてきた。借り入れの償還も終わったところにルートインの話が出てきて、改修できないところに投資ということにならないようにしてほしい。

農都創造部 新年度予算としては、客室や宴会場の襖、畳の張り替えを予定している。リニューアル後、そうしたことができていないので、お客さまを気持ちよく迎えるためにも必要な修繕を計上している。大規模な修繕については、今後のささやま荘のあり方を考える中で検討する。

足立委員 丹波篠山観光ステーション（仮称）について、人が対応することなので、その能力やスキルアップを進めてほしい。

農都創造部 観光ステーションには、経験のある観光推進専門員を配置する予定である。

足立委員 スタッフのイメージが大事であり、それに金を使うべきである。また、観光施設整備事業に関し、貸ボートのネーミングライツについてはどうなっているのか。

農都創造部 以前の分科会において、観光貸ボートのネーミングライツについて提案があった。昔の貸しボートでは、放送で『〇〇号出発』との形で実施し、広告料をもらっていたそうである。現在はウイズささやまに委託しているので、歴史施設 4 館の利用で特典が受けられる取組を行っているが、別の方法も検討していきたい。

足立委員 宿泊施設魅力アップ補助金について、市内の宿泊施設はいくつあるのか。

農都創造部 市内宿泊施設は全部で 28 施設である。

足立委員 補助金は単年か。

農都創造部 補助は 3 年間を目途に考えている。

農都創造部 軽度の増改築や改修、備品購入を想定している。

園田委員 篠山口駅周辺整備について、電球が間引いてあったりして、自由通路の照明が暗いと思うが。

農都創造部 来年、篠山口駅自由通路にデジタルサイネージを設置するので、明るい雰囲気にしていきたいと考える。

農都創造部 地域整備課など他の部署と十分連携して整備を進める。また、観光ステーションについては、募集する人件費等を補正予算に計上していきたいと考えている。

大上委員 六古窯日本遺産活用事業に関し、市内小学生丹波焼伝統工芸体験の報償費は、陶芸美術館からの出張で実施するのか。

農都創造部 今田地区まで行けないところもあるので、出向いて行って指導することを想定している。

大上委員 観光宣伝事業の市マスコットキャラクターPR事業について、今田地区にも「ときめきくん」があるので、連携をとってほしい。

農都創造部 地元まちづくり協議会のマスコットキャラクター「ときめきくん」は、陶器まつりにも参加し、まるいのやまめりんが遠慮している状況である。今後はコラボレーションできないか検討する。

大上委員 外国人の交通手段は把握しているのか。

農都創造部 外国人に限定した交通手段の調査は行っていないが、ほとんどが公共交通機関で来ると考えている。バスツアーも利用されている。

園田委員 サイクリングツアーが計画されており、サイクリングを利用する観光客は増えてきていると思われるが、道路の整備などについてはどのように考えているのか。

農都創造部 丹波土木事務所とも道路整備の件で協議したことがある。県としても何か協力することがあれば、相談に応じるとのことであった。その際に、サイクリングロードの整備についても協議した経緯がある。

園田委員 白髪岳登山道整備推進会議補助金について、地元のメンバーは高齢化していることから、地元と連携し、案内看板の設置をされたい。

農都創造部 古市駅を出たところのトイレの壁に登山も含めた案内地図が貼ってある。国道に出るまでにも低い看板が3枚あり、住山集落の入口にもある。ただし、古くなっていることから、地元と更新について連携していきたい。

小島座長 観光推進専門員は篠山口駅に駐在するのか。

農都創造部 そうである。

小島座長 丹波篠山まちのコンシェルジュはどのように進んでいるのか。

農都創造部 コンシェルジュミーティングは2回開催し、その他1回はまち歩きをして指導してもらっている。

小島座長 サイクルスタンドの作成が予算計上されているが、レンタサイクルが老朽化している。当面は現状のままなのか、どのようにしていくのか。

農都創造部 サイクリングロードの整備について、関係部署と連携していく。車両の更新については、経済産業省の補助金などを研究していく。

小島座長 六古窯日本遺産の補助金は共通のものなのか、単独では使えないのか。

農都創造部 補助金は当初は別になっていたが、文化庁からは共通でとなっており、映像を含めたホームページサイトに文化庁の補助を使っていきたい。ただし、看板や小学生の陶芸体験などについては、補助金とは別に、日本遺産の丹波焼の魅力を発信する事業として、市独自で行うこととしている。

小島座長 広く篠山を「知ってもらおう」や「また来たい」と思わせる具体的な取組は。

農都創造部 文字だけで伝えるより、写真や映像で伝えることが大事であると考えて

いる。このため、絶景写真やユニークな映像により篠山市をアピールし、まずは「知ってもらう」ことから始めたい。

小島座長 知ってもらうということについてはホームページが大事で、委員会から市長に提案している。明日香村のホームページは女帝などの漫画を使い、ホームページを研究し充実している。観光拠点の人は笑顔が大事になり、情報も発信していかななくてはいけない。にこやかな対応など篠山口駅は大事な場所になるので、観光推進専門員の対応がよいのか検討してほしい。

農都創造部 人は重要である。笑顔が大事で、専門的な知識が欠かせない。観光推進専門員は高齢であり、もう一人、例えば外国語が堪能な好印象が与えられる人材を配置したい。

小島座長 適材適所をお願いしたい。

足立委員 ディスカバーささやまグループ補助金について、これまで各地を訪れたとき有料の案内ガイドをお願いしてきたが、非常に質が良い。デカンショ祭りやディスカバーささやまにはもっと予算をつけて、若い人材を確保してほしい

農都創造部 一緒に視察に行き、人材育成は非常に重要であると認識しているので、取組んでいきたいと考える。

小島座長 先進地に行き、各施設での取組を肌で感じてもらうことが必要である。頭ごなしにスキルアップと言っても、なかなか感じてもらえないのが現状である。

園田委員 観光客おもてなし事業のおもてなしベンチ設置事業について、どのようなどころにどのような材料で考えているのか。市産材で考えているのか。

農都創造部 10カ所程度に、篠山産木材を使ったベンチの設置を考えている。設置場所については、東京大学・堀教授の意見もいただきながら、観光スポットなどに設置していきたい。

園田委員 設置後の管理はどうするのか。

農都創造部 擬木などを使ったベンチは長持ちはすると思うが、本物ではない。あくまで本物にこだわりたい。

大上委員 大正ロマン館の景観を良くしていこうとしている中、集客についてはどのように考えているのか。

農都創造部 東京大学堀繁先生の話から、お客様を呼び込むような仕組みづくりを行っていききたいと考える。

#### 【主な説明】

農都創造部より予算説明資料に基づき説明（農都環境課）

【主な質疑】

國里副座長 ふるさとの森づくり事業に関し、事業実施が確実でない事業者への補助金の交付を見込んでいる地区はあるのか。

農都創造部 平成 29 年度 3 月補正で減額した里山再生事業のようなケースは、今回はない。

園田委員 鳥獣被害対策事業に関し、モンキードッグの現在の認定頭数とその活動内容は。

農都創造部 認定頭数 31 頭、現在活動頭数 14 頭、今年度 3 頭を認定予定である。今年度の活動実績として、岩崎自治会や西野々自治会でサルの出没時に追い払いを実施した。サルの出没時に常時活動したいが、飼い主が不在時に出没するケースが多く、頻繁に追い払いができないのが現状である。

園田委員 今後は全地域で養成していく必要があるのか。

農都創造部 自らの地域を自らが守るための一環として行っており、希望する人のみを対象としている。モンキードッグがいない地域でも、その要請がなければ育成はしない。

園田委員 年間 3 頭ずつ増やしていく計画なのか。

農都創造部 年によっては 10 頭以上を育成したこともあったが、現在の要望数が 3 頭程度となっている。

園田委員 林業一般管理事業に関し、溪谷の森公園改修工事の今回の内容は。

農都創造部 管理棟内のエアコン改修工事、管理棟樋修理工事、管理棟浴室中庭改修工事、炊事棟手摺り改修工事である。

小島座長 地域おこし協力隊活動費に関し、平成 30 年度より学生型から起業型へ変更と記載されているが、その内容は。

農都創造部 現在、農都環境課で所管している地域おこし協力隊員は大山地区で活動している隊員である。今年度で京都の大学の大学院修士課程を修了する。本人が大学院卒業後も大山地区に残って起業に向けた活動を続けたいとの意向を持っており、今年度の学生型から、来年度は起業型に変更になる。学生型では週 3 回の勤務の扱いであるが、起業型では週 5 回の勤務の扱いに変わる。勤務日が増えるのに伴い、隊員報償費が増えるので、今年度と比べて増額の予算となっている。

小島座長 農都環境課からは同隊員だけなのか。

農都創造部 来年度当初は 6 人の地域おこし協力隊が引き続き活動する予定であるが、農都環境課で所管するのは同隊員のみである。

小島座長 鳥獣被害対策の実施隊員の活動状況は。

農都創造部 昨年 7 月 10 日に鳥獣被害対策実施隊員活動中に事故が発生した。その報告が 8 月 10 日に市へあり、発覚した。このような事故を二度と起こさ

ぬよう、昨年秋に全実施隊員を対象に、警察及び県猟友会から講師を招き、再発防止研修会を行った。先日 2 月 23 日にはマナーアップ講習会として、射撃場の教官を迎え、猟銃の取扱を中心に再発防止研修を実施隊員に実施した。さらに、一部の隊員を対象に猟場における実地研修を予定している。これらの全てにおいて安全な活動ができるかどうか確認できた人のみを新たな実施隊員として任命し、農家の期待に応えられるよう準備しているところである。

小島座長 駆除再開の時期はいつからか。

農都創造部 3 月 16 日から有害鳥獣駆除活動の再開を予定している。

小島座長 大丹波地域サル対策広域協議会負担金の内容は。

農都創造部 大半はサル監視員の人件費と監視活動に必要な車のリース料であり、その他消耗品費である。

小島座長 負担金は篠山市が中心的に負担しているのか。

農都創造部 負担金の計算根拠は、サルの出没率で決定しており、協議会内では篠山市内の出没が最も多い。よって、篠山市の負担金が一番高額となっている。来年度の活動事業費として約 740 万円で、その内、国庫対象事業分が約 520 万円、単独事業分が 220 万円となっている。構成市町の負担金の内訳は、福知山市 12 万円、南丹市 27 万円、京丹波町 12 万円、篠山市 161 万円、丹波市 10 万円となっている。

小島座長 獣害被害防護事業に関し、防護柵を今後管理していくうえでの取り組みは。また、今後新規の申し入れがあった場合はどう対応していくのか。

農都創造部 国庫補助事業で実施したサル用電気柵支給について、支給した自治会等に翌年度必ずフォローアップ説明会を実施している。内容は、管理や点検状況を確認し、不備があれば指導したり管理方法を再確認したりしている。金網柵については、広報等で周知し、年数回実施している獣害研修にて点検方法等を再確認している。防護柵の新規申し入れの対応として、市単独補助の獣害対策事業補助金にて対応する。補助制度としては、半額補助となっている。

小島座長 林業一般管理事業に関し、危険木除去までの流れは。

農都創造部 昨年の台風による倒木の発生を教訓に、市民の生命に差し迫った危険を及ぼす危険木を除去する経費の 2 分の 1、上限 50 万円を助成するものとしている。差し迫った危険とは現に住居に倒木が倒れかかっていたり、裏山の倒木が住居に向かって正に滑り落ちそうな場合を想定している。危険木除去の対象とするかどうかは、連絡等により現地で判断することになる。

小島座長 地籍調査事業に関し、DID とは何か。

農都創造部 DID とは比較的人口が密集しているところで、DID 以外は比較的人口が

密集していない宅地のことである。篠山市の地籍調査の実施率は4.58%となっている。

小島座長 以前、全域を調査すると多額の費用と年数がかかると聞いたが、来年をかわきりに全域調査をしていくのか。

農都創造部 平成30年度は山林部から、再開するものとして、高倉を予定している。予定面積は0.88平方キロと、地籍調査を実施している他市町と比べると少ない面積である。再開といえども事実上始めての実施に近いことから、本格実施する前に必要な体制を検討するためにこのような面積となっている。

農都創造部 新温泉町など、地籍調査を実施している市町へ行ってその体制などを調査している。地籍調査のやり方の一つとして、山林も耕地も合わせて字単位で地籍調査をしている場合も有り、篠山市にとってどういったやり方体制が必要か十分検討しながら進めていく。

大上委員 県営土地改良事業に関し、負担割合の違い。

農都創造部 負担割合はため池の受益面積によって異なる。地元負担率では、かんがい受益面積が20ha未満であれば事業費の2%、20ha以上であれば事業費の1%となる。加えて仮にそのため池が決壊した場合に想定される浸水区域を防災受益といいます、その防災受益が7haを超えるため池については地元負担がゼロになります。

大上委員 スtockマネジメントは地元負担が15%となっているが。

農都創造部 かんがい受益面積や防災受益面積によって負担率がことなるのはため池整備事業に限る。このStockマネジメント事業は過去に県営事業で整備した農業水利施設の改修事業であり、地元負担率は一律事業費の15%となっている。

足立委員 新エネルギー・省エネルギー事業費に関し、急速充電器は今後増やしていく計画なのか。また、認証サービス業務委託料とは何か。

農都創造部 市域における電気自動車充電設備の望ましい設置数は、兵庫県のビジョンで定められており、篠山市では18基とされている。現在市内では17基の充電設備が設置されているが、そのうち半数以上は電気店などに設置された普通充電器である。普通充電器は充電に時間がかかるので、現状で県ビジョンがほぼ実現されたとしてよいのか既存充電器の利用状況などから検証が必要と考えている。来年度の予算では、西宮市などで実績のある従来とは異なる新しい形態での急速充電器の設置に向けて検討する予定である。

農都創造部 これまで篠山市としては市役所、今田ぬくもりの郷、ハートピアセンターの3カ所に急速充電器を設置している。これらの急速充電器は一般的に



電気自動車ユーザーが所有している NCS カードによる支払いに対応している。認証サービス業務委託料は NCS カードユーザーが急速充電器を利用した際に、データセンターと通信し、認証するサービスに要する費用です。来年度は既存の 3 基に加えて、このような認証サービスや電気代などについての負担がなく、毎月定額 2 万円プラス消費税の負担のみで運用できる形態で新しく急速充電器 2 基を設置できるよう進めていく予定である。

小島座長 ペレットボイラーの資料を作ってもらっているので説明願いたい。  
農都創造部 (資料に基づき説明)

休憩 12:30～13:30

#### 【主な説明】

農都創造部より予算説明資料に基づき説明 (農都政策課)

#### 【主な質疑】

國里副座長 環境創造型農業推進事業に関し、エコファーマーを既を取得している人は、GAP に対しどのような反応をしているか。

農都創造部 今月県から市に対する説明を受けたところである。詳しくは伝えられていない状況なので、県等からの情報を入手の上、今後、市民に対しお知らせする予定である。なお、要件は認証取得ではなく、取り組む事が要件となっているので、ハードルが高くなる事はないと考えている。

國里副座長 特産物振興事業及び特産物普及 PR 事業に関し、市外への発信を重きにおいて考えているのか。市民の反応や効果はどうか。

農都創造部 現在、コシヒカリ宣言を行い、「ご飯を食べて美しくなろう」をキャッチコピーにポスターを作った。ポスターは「認定農業者や丹波篠山楽空間等、市民をモデルにしており、更にはのぼり旗、ポケットティッシュ、卓上広告を作り、PR を始めたばかりであるので、今後も継続していきたい。

國里副座長 お米の PR については、市内消費を盛り上げる取組みを期待する。米の生産調整の廃止が進むなか、枝豆の生産が減るのではないか。

農都創造部 昨年、JA 丹波ささやまでは莢豆ラインが導入された。荷造り等の農家負担が軽減されるので PR していく。

前田委員 特産物振興事業に関し、主要農作物種子法が廃止されたが、今後の展開はどう予測しているのか。

農都創造部 規制緩和を目的とし、法が廃止された。兵庫県では条例を制定し保護していく方向。市としては、川北黒、波部黒、兵系黒 3 号を、黒大豆以外に

も小豆、山の芋の種子を守っていく。

前田委員 集落営農推進事業について、集落営農アドバイザーを派遣し、まちづくり地区単位で集落営農を行おうとするものか。

農都創造部 農家が減少するなか、単独集落でできないことでも、地区をエリアとすることでスケールメリットを活かす考えである。3月に募集を進める計画である。

國里副座長 環境創造型農業推進事業の美しくて環境に良い米づくり事業について、市内20カ所の候補地は定まっているのか。また、栽培ごよみの基準を更に減らそうというものか。

農都創造部 候補地は、市内に分散して選定を始めているところである。まずは、農業者の現状値を把握し、事業として検討する。

國里副座長 現在の栽培ごよみ等の基準で考えると、これに即した人はあまりいないのではと感じる。基準が環境に良い米づくりになると、普通に栽培するだけで5割低減に該当する事になると思われる。もっと削減した調査を進める考えはあるか。

農都創造部 依頼する農家の水準を把握したうえで、削減の程度を考える事としているので、営農ごよみの基準のままを進めるわけではない。

國里副座長 候補地として取り組む農業者に不利益はないか。

農都創造部 収量や品質が低下する可能性も理解のうえで依頼する。

園田委員 集落営農推進事業について、集落営農では「地域を守る」「営利に取り組む」「特産を守る」など、目標は様々であるが、行政として地域の声を聴くことが大切である。集落営農を継続するうえでも、年間を通して収入を得られるものを推進すべきではないか。

農都創造部 市内の集落営農のほとんどが、「自身の農地の米を食べたい」という観点から組織活動が行われている。年間を通した収入も大切であるが、機械の共同利用により、損を減らす手法として集落に助言していきたい。

大上委員 担い手支援事業のいきいき農村女性オペレーター育成について、平成29年度の参加者の意見、新規就農者の割合はどうであったか。

農都創造部 平成29年度の内容は、トラクター操作と草刈機の操作実習で、参加者は29名のうち、新規就農者は2~3人であった。参加者からの意見として、「もう少しトラクターの運転をしたかった」という意見が多く、平成30年度は初級、中級といった参加者の経験に併せ、操作実習時間を多めにする予定である。

大上委員 特産物普及PR事業の台湾への出店商談について、今後の展望を尋ねる。

農都創造部 事業取組当初から3年後がひとつの区切りと考えており、平成30年度が3年目となる。30年度に評価検証を行い、今後の取り組みを検討する。

足立委員 (株) 篠山魚市場が閉じられる影響はどの程度あるか。また、魚市場の代替え対策は検討しているのか。

農都創造部 味土里館は出荷規格があり、魚市場は最後のセーフティネットとして役割を果たしていた。春野菜の出荷に間に合わせることは厳しいが、新たな場所の確保は現在交渉中であり、運営は民間でリードしてと考えている。

小島座長 農都創造推進事業の農都創造審議会について実施状況は。

農都創造部 3月6日に審議会を開催し、本年度の取り組み及び新年度に向けた計画を報告する予定である。

小島座長 特産物振興事業の篠山米を食べよう市民運動について、PRのターゲットは市内外どちらに向いているのか。篠山米はどういった基準で考えているのか。

農都創造部 市民に米を食べてもらうことを主に置き、市外へは環境に配慮した米であることや、食味によってPRしていきたい。また、篠山米は30年度の「美しく環境に良い米づくり事業」の結果を踏まえ、食味値を主として基準を考える。

小島座長 環境に配慮した米づくりとして、特定の栽培方法をした米に名前を付けて、ブランド的な販売を考えているのか。流通方法等は。

農都創造部 ブランドにするのは、基準やパッケージが必要となるので、平成30年度の調査結果に基づき、認証基準をさだめていく調査を進める。

小島座長 多面的機能支払交付金事業の資源向上支払い額が5年以上の継続地区で75%になる理由は。

農都創造部 国の施策となるが、本事業は5年を一つの区切りとして進めていることから、5年間で一定の整備が進んでいるとの考え方になる。

小島座長 農地保全推進事業の農地流動化促進奨励金は、1回のみ支払いか。

農都創造部 農地の貸借が発生した初年度のみ支援である。

小島座長 集落営農推進事業の機械施設導入支援で米の乾燥機の導入は検討されるのか。

農都創造部 いくつかの集落から乾燥機や機械を保管する倉庫の支援を聞くことがある。平成30年度に検討する予定である。

## ■ 日程第2 議案第37号 平成30年度篠山市農業共済事業会計予算

### 【主な説明】

農都創造部より予算説明資料に基づき説明（農都政策課）

### 【主な質疑】

小島座長 営業収益に関し、農業共済事業の掛金の運用はどこが行っているのか。

農都創造部 兵庫県農業共済組合連合会と国にそれぞれ再保険をかけている。

足立委員 家畜共済の技術料とはどのようなものか。

農都創造部 家畜診療所に支払う獣医師の診療費用である。

小島座長 共済被害申告の内訳は。

農都創造部 水稲共済は風水害と獣害が多く、大豆共済は風水害と病害が多い。園芸施設共済は今年の台風 21 号の被害が主である。

農都創造部 【収入保険制度及び農業共済制度改正について説明】

小島座長 農作物共済が任意加入となるのはいつからか。

農都創造部 平成 31 年産からであり、本年の秋に引き受ける来年産の麦と来年度の水稲から開始される。

小島座長 収入保険制度の掛金には積立金部分があるが、どう運用されるのか。

農都創造部 積立金部分については被害がなければ翌年度に持ち越される。

足立委員 現在の農業共済制度が収入保険制度へ移行するということか。

農都創造部 現在の農業共済は存続し、収入保険かどちらかを農家が選択して加入することができるようになる。

小島座長 水稲共済の当然加入は残るということか。

農都創造部 水稲共済は任意共済となる。農業共済制度と収入保険制度のどちらかに加入するという選択肢の他に、どちらにも加入しないという選択肢もある。

小島座長 どちらが得になるか。

農都創造部 農家によって経営形態は様々であり、どちらが得とはいえない。

足立委員 収入保険制度は青色申告をしていることが加入条件ということであるが、市内の青色申告を行っている農家はどれぐらいあるのか。

農都創造部 分からないので改めて資料を提示する。

前田委員 普通の農家は加入できないのか。

農都創造部 普通の農家でも加入できるが、青色申告をしていることが必須条件となる。

農都創造部 大規模農家でなくても青色申告をしていれば加入できる。

## ■ 日程第 1 議案第 30 号 平成 30 年度篠山市一般会計予算

### 【主な説明】

農業委員会より予算説明資料に基づき説明（事務局）

### 【主な質疑】

小島座長 農業委員関係費に関し、委員の改選において問題などはなかったか。

農業委員会 農業委員及び農地利用最適化推進委員ともに平成 30 年 4 月 1 日から 3 年

間の任期で、昨年 10 月に条例改正し、11 月から募集を開始したため、周知期間が短かったと考えている。今後農業委員会の活動などを紹介していきたい、次回の改選に活かしていきたい。

小島座長 農業委員の地域性を今後どのように考えるか。

農業委員会 農業委員の定数は 19 人であるが、地域割はなく、市全域から 19 人を選任する。その中でも農地は地域との関わりがあるので、今回の改選では関わりのある自治会に推薦を求め、ある程度バランスのとれた委員の選出となった。今後においても、認定農業者の要件や地域との関わりを踏まえた選考になると考える。

小島座長 地域性を考慮したほうが運営にもよいので、篠山ならではのシステムにできたらと考えるが、どうか。

農業委員会 法律では篠山市では 19 人の定数との規定であり、自治会と調整しながら 3 年後の次回改選に向けて検討していきたい。

小島座長 地域性を考慮しての選考のほうが選出する自治会にとってもよいことだと考えるので、3 年かけて方向性を決められたい。

足立委員 今回の選任は市長の委嘱になるのか。

農業委員会 農業委員は議会の同意を得て市長が任命することになっている。

足立委員 欠員が出た場合はどうなるのか。

農業委員会 法律では、1 名の委員の欠員によりすぐ募集が必要とはなっていない。本来の業務が行えないほど欠員が生じた場合は改選と同じく募集や推薦の手続きをしなければならない。

足立委員 今後欠員が出て選出する場合には、今回の選任で定数を超えたことに対して配慮して慎重に取り組んでもらうようお願いしたい。

小島座長 農業委員から農地利用最適化推進委員になった人は何人程度あるのか。

農業委員会 現職の農業委員から農地利用最適化推進委員になった人は 4 人である。

足立委員 委員の構成において、認定農業者に準じるとはどういう意味か。

農業委員会 農業委員の中に原則として認定農業者が過半数との規定がある。ただし、区域内に認定農業者が少ない場合は認定農業者と認定農業者に準じる者を合わせて過半数で議会の同意を得ればよいことになっている。少ない場合とは、定数の 8 倍以下で、篠山市は基準より少ない。準じる人とは、過去に認定農業者であった人や集落営農組織の役員などで、今回認定農業者に準じる人から 7 名を推薦してもらっている。

小島座長 農地利用最適化推進委員の業務を説明されたい。

農業委員会 担い手の集積集約化を図ること、遊休農地の発生防止と解消に関すること、新規参入者の促進が明確に示されている。

小島座長 農地利用最適化推進委員は任意に活動してもらうのか。

農業委員会 素案としては、毎月月末頃に農業委員と農地利用最適化推進委員全員の会議を開き、1か月ごとの活動の報告の場を設けようと考えている。

農業委員会 農地利用最適化推進委員の日頃の活動としては、地元の区域内で農地の貸し借りの調整や人農地プラン作成の助言などをしてもらおう。

■ 議員協議

(意見なし)

議案第30号 平成30年度篠山市一般会計予算

議案第37号 平成30年度篠山市農業共済事業会計予算  
—部長・市長への確認質問なし—

■ 意向確認

議案第30号 平成30年度篠山市一般会計予算

議案第32号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計予算

議案第33号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計予算

議案第37号 平成30年度篠山市農業共済事業会計予算

議案第38号 平成30年度篠山市水道事業会計予算

—修正・反対等の意見なし—

小島座長 この結果を含め、執行部との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任願いたい。

—異議なし—

■ その他

議会事務局 事務連絡

■ 閉会 16:00

國里副座長あいさつ